

心耕

ハッと聞かれてサッと答える。減りに
できなくなった。老化。昔がそうじゃない!!
トナリのことば

6 6 3 7

西光寺夕報

今月の行事

・十二日(木)常例法座 午後二時より

…はじめの一歩・第七回…

若住聡担当

・二十二日(日)日曜法座 午後二時より

…法話担当・住職

終了後 午後三時より

一門信徒会総会!

・築地本願寺降誕会参詣 21日

※帰敬式(おみそり)受戒者のみの参詣!

・写経会、十三日(金)午後一時より

・勉強会 十二日(木)午前十時より

15日(日)午前八時より 草刈り 御加勢
お願ひします。

年中・朝 六時半 御晨朝
ごいんじよう
おあなごい

ガラス戸とドアと開け放った部屋に南東の風が吹き抜ける。お茶を飲んでいたら気が持たない。うそ今は仕事・作業中、ぼてて戸もドアも閉めにまわる。飛んでい、たメもや資料を集めてまわる。

この間に考えていたことを忘れこまうので、お茶を一杯、タバコをふかして考え直す。

春というより初夏というべき陽気でお寺の回りの鳥も変わって来た。つい先回は大きな「ケン」という声をして雄のキジが由起こし前の田んぼにいた。

一羽の雄キジは三、五羽のフアミリーをかかえていて、ノンキに鳴いているようだ。突如見回りに炸すいのだ。人間の戦争よりはましだけで、それにしてモロアはひどい。

失ったものを

数える人あり

与えられたものに

感謝する人あり

豊島学由

失くしたものを惜しみ、得したものを喜ぶ。

ため息ついたりにつこり笑ったり、損得の

勘定だけで充分だと思ひ込んで、同じよう

な日暮らしを幾度繰り返してきたことか。い

ろんな体験をし、色んな人に出会い、ためにな

る話も無駄話もいっぱい聞いて、自分とはど

ういうものか、世間とはどういうものか、痛い

ほど身につまされたこともあったりして、

損得だけが全てではないと思えることも多く

なった。だが損得勘定の算盤を失くしたわ

けではない。

損得勘定の算盤をついはじく癖は抜ける

ものではない。ただ昔と違って多少は恥ずか

しいと感じることが増えてきている。そして

私が我慢していると思っていたことが、私

が我慢してもらっているのだと気づかされる

ようにもなっている。

阿弥陀さまの話を聞くうちに、損得の狭い

世間からひよいと抜け出すコツを教えてもら

った。楽になる。喜びが増える。悲しみも増

える。昔の人がこの世を仮の世と伝えてくれ

たことが真にうれしい。その伝えてくれた教

えが南無阿弥陀仏。たった六字の名号でナン

マンダブナマンダブと時折知らぬ間に一緒に

いて下さる。本当にうれしい。ナンマンダブ

擬宝珠

擬宝珠というと、何のこ
とかなと思われるかもしれ
ません。お寺の縁側の手す
り

りの先端や橋の欄干の先端にある装飾を擬宝珠と言いま
す。雨水等による腐食を防ぐ役割があります。

形状がネギの花に似ていることから、葱帽子↓ギボシ
という説もあり、その臭気から魔除けを願います。

この擬宝珠という漢字をよく見てください。「擬十宝
珠」で構成されています。宝珠をまねたものなのです。

「宝珠」とは、漢字のままに宝の珠という意味です。こ
こでいう宝は、金銀財宝のことではありません。迷いを

断ち、人々をすくいたいという仏の願いを宝に例えたの
です。

時折、菩薩が手に球を載せていることがあります。こ
れが宝珠です。また、寺院建築の屋根の中央先端にある

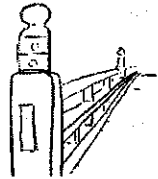
球がとがった形状のものを宝珠といいます。これに似せ
たものを擬宝珠というのです。

親鸞聖人の師、法然聖人は「今の我等は二河の水火を

分けて、弥陀本願の宝珠を得たり」と

阿弥陀如来のすくいに遭遇した慶びを表

現しておられます。



水槽の電気

でもあまりいい

イチゴがでま

した。若住取

こんなところに

仏教用語

用教用
語を紹
介して
います。

疑網

パソコンで「ぎもう」と入
力し変換すると「欺罔」と出
てきます。世間ではなんの違



和感がないと思えます。ところが、浄土真宗の僧侶が見れば違
和感があります。「ぎもう」の漢字は「疑網」だろうと。

このコーナーをやつてよかつたと思える瞬間です。僧侶側が
当たり前だと思つていたことが実はそうではなかつたのです。

「ぎもう」と広辞苑で引きますと、
欺罔：①あざむくこと②事実を偽ること 欺罔行為
とあります。「疑網」の方は出てきません。仏教辞典で「疑網」

を引きますと
疑網：疑いが張り巡らされて自己を束縛し自由を奪うさまを、
網の目にかまされる様子に譬えたもの

とあります。疑いが自分を苦しませているのです。近頃はいろ
いろと疑わなければならぬ時代です。知らない電話番号は詐

欺ではないか、このメールは詐欺ではないか、これは最初は安
いけれど後で高額請求が来るものでないか。

疑わずに、玄関のカギは開けっ放し、財布を落
としても届く…古き良き日本はちよつと前まで

あつたのです。



法座案内

十二日(木)午後一時～

はじめの一步 第七回

浄土真宗を一から学ぶ会です。今は正信偈を少しずつ読んでいます。初めてでもぜひご参加ください。

二十二日(日)午後一時～

日曜法座

『失ったものを数える人あり 与えられたものに感謝する人あり』
今月の法語カレンダーより、住職が法話を致します。

聞信徒会総会

昨年度の行事・決算報告、今年度の行事・予算案をご報告させていただきます。

***感染症対策へのご協力をお願いいたします。**

各種ご案内

・お朝事

毎朝六時半～七時、お勤めをしています。日々のお参り、命日などにお参り下さい。

・草取り

十五日(日)八～九時 是非お手伝いを！

・写経会

十三日(金) 十三時～十五時
ゆっくりと書いています。いつでもどうぞ

・壮年会・婦人会主催の勉強会

壮年会 休み 六月は一日 十八時～
婦人会 十二日 十時～十二時

・門信徒会費 口座振込先

振込番号です ゆうちよ銀行
西光寺門信徒会 00180-0-713424
会費 年間一万二千元

・愚痴聞き場「あみだぐち」

若手僧侶で愚痴聞き場をラインで設けています。以下からアクセス！

・心耕発送者募集！

心耕(月刊西光寺新聞)発送作業をお手伝いいただける方を募集します。

形態・三カ月に一度 主に月初めの平日 時間・一〇時～一二時 特製ランチ付♪

・西光寺公式アカウントが出来ました

西光寺のライン用アカウントが出来ました。お寺の行事などを配信予定です。

ラインをされている方は、左のQRコードから登録してください。

・西光寺チャンネル新作配信

YOUTUBEの西光寺チャンネルにて、仏教紙芝居「仏さまのマラソン大会」の動画を配信 西光寺チャンネルで検索か、以下QR

で

・感染症対策について

37.5℃以上の発熱、咳が出る方はお参りをお控え下さい。マスク着用、消毒にご協力下さい。法座等の集まる行事では、念の為、氏名をご記入頂く場合があります。

急な予定変更の場合がありますので直接連絡をするか、HPを参考にして下さい



『大経』 三

今後は『仏説無量寿経』という名称を別名『大経』を用いて字数を節約して行きたいと思えます。なお記述が煩雑になることから『』を省略することも有りますが本経典を示しているところ承下下さい。

さてスッタニパータなどの原始経典類や大乘経典の多くの出だしは「如是我聞」で始まります。しかし不思議なことに康僧鎧の訳した『大経』の出だしは「我聞如是」なのです。

このような出だしの経典は極々少ないようです。基本的な意味は両者とも同じで「このように私は聞きました」となります。何故逆なのかと不思議に思えます。考えてみますとサンスクリット語と中国語の文法の違いなのではないかと思っております。サンスクリット語は印欧語族の仲間です、その基本はSVOで主語＋動詞＋目的語です。であれば「我聞如是」となるはずですが、日本語の場合は動詞が最後になります。それを当てはめると「我如是我聞」となると思えます。では中国語ではと考えると中国語の基本は時間の経過なのです。ですから最初に起こるのはお釈迦様の説法で、二番目に私がそこに居て、最後がその説法を私が聞いていくという順序なのだと思定されます。そう致しますと

「如是我聞」となります。しかし(〇〇)なのか？
現在ロシアの南のアラル海に灌ぐシルダリア川の下流域から三国志で有名な曹魏の国に來た康僧鎧がなぜ「我聞如是」に拘ったのか？自分の母国の文法だからか？

経典の最初の言葉は阿難の表明であります。それはお釈迦様が亡くなられた後、教えを纏めようとした三回目の七葉窟での結集において、多聞第一と言われる阿難が最初に発した言葉が「如是我聞」です。その意味は「私が聞いたことを私の責任によつて語ります。たとえ可笑しな事だとしてもお釈迦様の責任では有りません」ということです。この結集に集まっていた大迦葉を中心とした人々は「聞く人の責任」に感動したのです。それ以来お『経』様の出だしには必ずこの「如是我聞」を採用することに成っているのです。

？の話に戻ります。「我聞如是」の我には康僧鎧自身も或いは読み手の一人ひとりが主語として、私がその現場に居ることが込められているのではないかと思うところです。救いの手立てが話され、また諸有衆生の自覚を促す話をしていく大切なお経を聞いていくのではないかと。この救いの用のお話を「今、この私が聞いているのだ」と強調しているようにも思われます。阿難が私で、私が阿難ですと。

住職多感

納骨堂建設の話、いつまで待たせるのだとしびれを切らしておられる方も多いと思います。もうしばらく待っていてください。考えていたほどに簡単にはいかず、思っていたほどには難しくはない。私の頭では整理が間に合わず、総会、そして来月号には整理した話が出来ると思っています。

大相撲に気が向かない。琴奨菊がいたころ、九州場所、棧敷席の博多美人も全く姿を見せない。

以前から様子が変わってきていた葬儀がコロナをきっかけにさらに激しく変わってきた。とは言っても私には昔(昭和三十年代)に戻ったようにしか見えない。昭和五十年代、東京近辺での初めての通夜に驚いた。魚は出るし肉も出る。おまけに寿司・オードブル。宴会のようで、九州の田舎にいて、質素な精進で、酒かビールか焼酎かで済ませい

たことしか知らなかった私には丸で別世界だった。しかし慣れとは恐ろしいものだ。何時しかそれが当たり前になって、おかしいとは思うもののごく普通に御馳走を食べていた。

然し一気に様子は変わった。コロナのおかげで正気に戻った。お参りの人の数は多い方がいいが派手な会場、多額な葬儀社への支払い。坊さんは付け足しで取り敢えずの間に合わせ。このブームはもう過ぎたのだ。

西光寺でも柔軟に対処できるよう、家々の様子に応じて何とでもできるよう努力している。何でも相談してください。

地球温暖化・原発・エネルギー・大地震と課題山ずみの上にウクライナとロシアの戦争・コロナ・円高・・・どれをとっても避けられず一筋縄ではいかないことばかり。

阿弥陀さん、永劫の御修行まだまだつづつられますな。ナンマンダブナナンダブ

六日の予定

○十二日(日) 常例法座

はじめの一歩

○二十四(金)二十五(土)二十六日(日)

二日間すべて午後二時より

永代経

※草刈り

毎月・第三日曜・午前八時

毎朝・六時半

御目辰朝ごいんじょう
おあすこじ

発行

浄土真宗本願寺派(西)

西光寺

〒二九〇一〇〇二四

千葉県市原市根田

七三三二一

TEL. 0436-22-7412

FAX. 0436-24-1652

HP. <https://www.saikohji.net>

MAIL saikohji@hb.tp1.jp